

## EZ Controller

---

# バージョンアップマニュアル

---

このたびは、本製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。

本書では、新しいバージョンで対応した新機能の説明を記載しています。

The graphic features the text "What's New" in a bold, red, sans-serif font. The word "What's" is smaller and positioned to the left of "New". The text is set against a background of two overlapping, semi-transparent blue circles that create a soft, glowing effect behind the letters.

## 3 Ver.4.1からVer.5.0について

### 3.1 追加機能一覧

番号	項目
1	☞「3.1.1 仮想ペーパー幅の設定を任意に設定できるようになりました。」
2	☞「3.1.2 PDFファイルを読み込んで、プリントできるようになりました。」
3	☞「3.1.3 ネットオーダー経由でオーダーを受け付ける場合、入力機器側で指定された内容に従い、オーダーの受け付け、プリントができるようになりました。」
4	☞「3.1.4 QSS-35PLUSシリーズより前に発売されたQSSプリンターをEZ Controllerに接続して、プリントできるようになりました。」
5	☞「3.1.5 DNP（大日本印刷）製のプリンター（DS40/DS80）をEZ Controllerに接続して、プリントできるようになりました。」
6	☞「3.1.6 より品質の高いインデックスプリントができるようになりました。」
7	☞「3.1.7 メディア出力するときに、各ファイルに付けられるファイル名の付け方を選択できますが、CDやDVDなどを含め、すべてのメディアに対して、ファイル名の選択ができるようになりました。またファイル名の選択肢に、「オーダーナンバー + オリジナルファイル名」を追加しました。」
8	☞「3.1.8 DSA補正の「オートシャープネス」と「粒状抑制」の設定可能範囲を広げました。」
9	☞「3.1.9 Windows VistaのUser権限でもEZ Controllerが使用できるようになりました。」
10	☞「3.1.10 EZ ControllerをEZ System Managerに接続できるようになりました。」
11	☞「3.1.11 Connection SW for LFP/Epson（オプション）を使用して、EZ Controllerに接続できるEpson製の幅広プリンターの種類が増えました。」
12	☞「3.1.12「管理ツール」画面が他の画面の裏に隠れているとき、「コントローラメイン画面」の「F」ボタンをクリックすると、「管理ツール」画面が前面に表示されるようになりました。」
13	☞「3.1.13 あるオーダーのジャッジ中（「ジャッジ画面」が表示されている状態）に、画面を「オーダー画面」に切り替えて次のオーダーを登録したとき、ジャッジ中であるオーダーの「ジャッジ画面」が前面に表示されるようになりました。」
14	☞「3.1.14「コントローラメイン画面」の「START/STOP」ボタンをクリックして「STOP」状態のとき、Switcherの「コントローラメイン画面」アイコンが点滅して、「STOP」状態であることがわかるようになりました。」
15	☞「3.1.15 オーダーの処理を開始しようとしたときに、プリンターが調整中のときは、お知らせを表示して調整中であることがわかるようになりました。」
16	☞「3.1.16 処理済みオーダーを再度処理する場合、プリントするプリントチャンネルを変更できるようになりました。」
17	☞「3.1.17「画質切り替え」画面に新しい画質タイプが追加になりました。」
18	☞「3.1.18 デジタルカメラのRAW画像データの読み込みについて、対応できるデジタルカメラの種類が増えました。」
19	☞「3.1.19 Ver.4.1で追加になった「プリンターを複数台接続している場合、オーダーを登録後にも出力するプリンターを変更できる機能」の使用できる条件が増えました。」
20	☞「3.1.20 あらかじめ登録されているプリント裏印字の印字コードに「デジタルカメラの自動補正のON/OFF、スキャナー濃度補正」を示すコード「SD」と、「オートコントラスト2」を示すコード「DG」が追加になりました。」

#### 3.1.1 仮想ペーパー幅の設定を任意に設定できるようになりました。

仮想ペーパー幅の設定は、あらかじめ決められた幅しか設定できませんでしたが、任意の幅を設定できるようになりました。

##### 設定手順

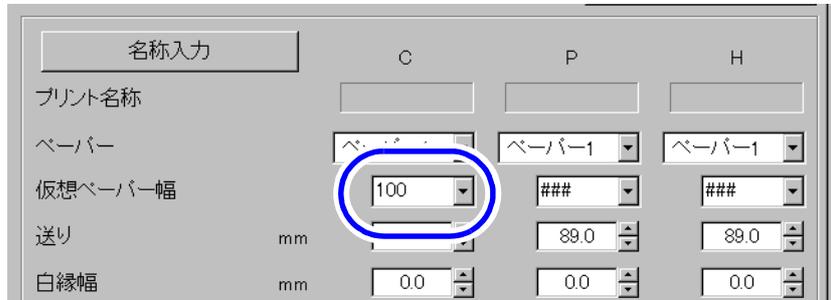
1. 「プリントチャンネル設定」画面を表示します。

##### 画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “プリントチャンネル”  
「プリントチャンネル選択」画面でプリントチャンネルを選択し、「設定」ボタンをクリック

2. 「仮想ペーパー幅」の設定欄にカーソルを合わせ、設定したい仮想ペーパー幅を直接入力します。

入力範囲は、「82.5mm」から「現在選択しているペーパーのペーパー幅」です。  
ただし、オプションソフトを使用してLPS-24PROに出力する場合は、127.0mm以下の値を設定しないでください。



S5103-00-UM34V500

これまで同様、▼をクリックすれば、あらかじめ決められた仮想ペーパー幅も選択できます。

以上で、任意の仮想ペーパー幅の設定は終わりです。

### 3.1.2 PDFファイルを読み込んで、プリントできるようになりました。

PDF Print Software (オプション) を使用すれば、PDFファイルを読み込んでプリントすることができます。  
PDF Print Software (オプション) を別途準備し、EZ Controllerがインストールされているパソコンにインストールしてください。

ここでは、PDFプリントするための設定とプリント方法の基本的な内容について説明しています。また、PDFプリントをするにあたり、いくつか制限事項もあります。詳しくは「PDF Print Software」の取扱説明書をご覧ください。

#### 設定手順

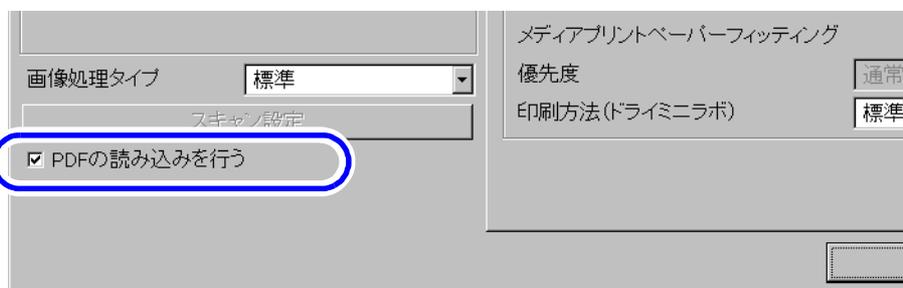
PDFをプリントできるようにするためには、PDFをプリントするための専用のプリントチャンネルを作成します。

1. PDFをプリントするためのプリントチャンネルの「プリントチャンネル設定」画面を表示します。

#### 画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック → “管理ツール” → “プリントチャンネル”  
「プリントチャンネル選択」画面でプリントチャンネルを選択し、「設定」ボタンをクリック

2. 「プリントチャンネル設定」画面左下の「PDFの読み込みを行う」にチェックを入れます。



S5103-00-UM33V500

お知らせNO.10329「PDF読み込み設定が変更されました プリントチャンネルに無効になった設定があります」が表示されます。

3. お知らせメッセージ上で、「YES」ボタンをクリックします。

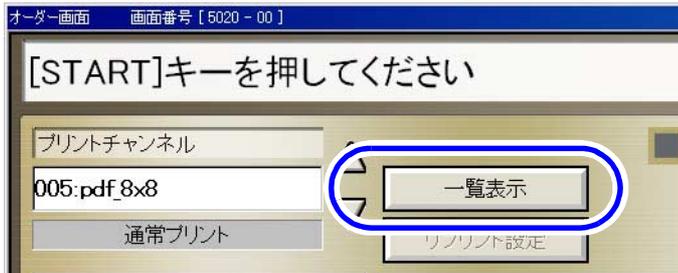
4. 必要に応じて、その他のプリントチャンネルの設定を行い、「OK」ボタンをクリックします。

その他の設定は、通常のプリントチャンネルの設定と同じです。必要に応じて設定を行ってください。以上で、PDFをプリントするためのプリントチャンネルを作成する作業は終わりです。

プリント手順

1. PDFプリント用に作成したプリントチャンネルを選択します。

(1)「一覧表示」ボタンをクリックします。



S5020-00-UM21V500

プリントチャンネルの一覧が表示されます。

(2) PDFプリント用に作成したプリントチャンネルを選択し、「YES」ボタンをクリックします。



S095931V500

「オーダー画面」に戻ります。

2.「オーダー画面」で、必要に応じて設定を変更します。

インデックスプリント、メディア出力、優先度、複数オーダー書き込みの設定はできません。

3. PDFファイルの入った記憶メディアをセットします。

4.「オーダー画面」で、「スタート」ボタンをクリックします。

「ファイル選択」画面が表示された場合は、ファイルを選択し、「YES」ボタンをクリックします。



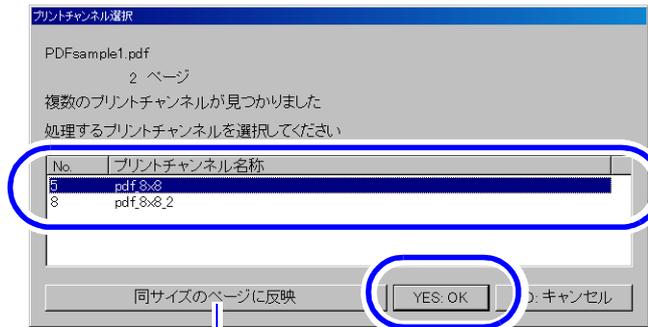
PDFファイルは複数選択できます。

S095932V500

5. プリントしたいサイズのプリントチャンネルが複数ある場合は、プリントチャンネルの選択画面が表示されるので、プリントチャンネルを選択し、「YES」ボタンをクリックします。

参考

- PDFファイルにはページごとにプリントサイズが埋め込まれています。そのプリントサイズを読み取り、そのサイズでプリントできるプリントチャンネルを探してプリントします。そのため、該当するプリントチャンネルが複数ある場合は、ページごとに以下のような選択画面が表示されます。



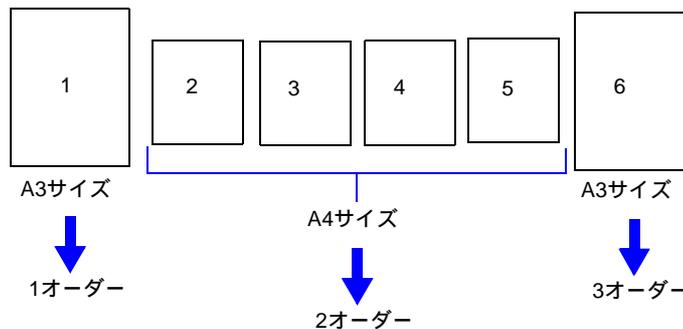
このボタンをクリックすると、対象となっているページと同サイズのページがこの後にもある場合、ここで選択したプリントチャンネルが適用されます。

S095933V500

**重要**

- 1つのPDFファイル内にプリントサイズの異なるページがある場合、プリントサイズごとにオーダーが分かれて登録されます。オーダーナンバーも別々になります。例えば、プリントサイズの異なる6ページのPDFファイル（1ページ目がA3サイズ、2から5ページがA4サイズ、6ページ目がA3サイズ）を処理すると、1ページ目のA3サイズが1オーダー、2から5ページのA4サイズが2オーダー、6ページ目のA3サイズが3オーダーとなります。

(例) プリントサイズが異なる6ページのPDFファイル



オーダーも自動でカウントアップし、それぞれ別のオーダーナンバーになります。

「コントローラメイン画面」では、次のようになります。



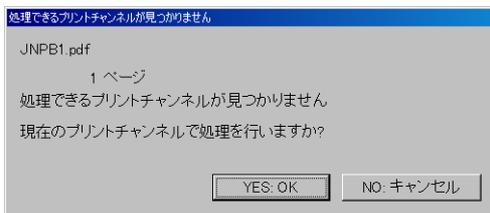
3つのオーダーに分かれて登録されます。

S5001-00-UM32V500

- オーダーが複数に分かれる場合、リオーダーするときもそれぞれ分かれたオーダーごとに処理する必要があります。

**プリントしたいサイズのプリントチャンネルがない場合**

この場合は、次のような画面が表示されます。現在選択しているプリントチャンネルのプリントサイズでプリントする場合は、「YES」ボタンをクリックします。



S095934V500

**6. 「ジャッジ画面」が表示された場合、画像の色や濃度を確認し、必要であれば変更します。**

この作業は、プリント方式を「PJP」、「PPI」に設定している場合のみの作業です。読み込んだPDFファイルは、1ページを一つの画像として表示します。

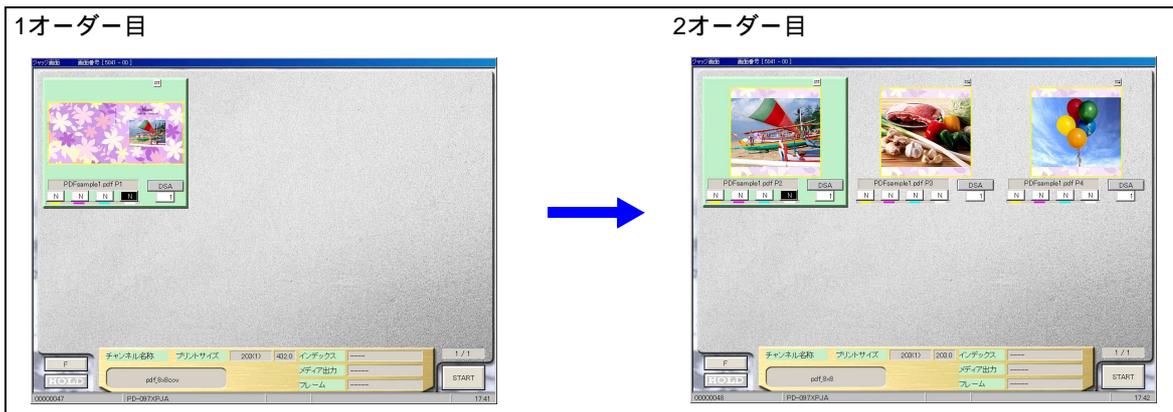


ファイル名の後ろに「P1」「P2」のようなページ番号が付きます。

S5041-00-UM15V500

**重要**

- 1つのPDFファイル内にプリントサイズの異なるページがある場合、プリントサイズごとにオーダーが分かれて登録されます。そのため、「ジャッジ画面」も分かれたオーダーごとに表示されます。まず1つ目のオーダーの「ジャッジ画面」が表示され、その後次に次のオーダーの「ジャッジ画面」が表示されます。



**7. 「START」ボタンをクリックします。**

次の画面に移ります。

**8. 手順 6から手順 7を繰り返します。**

すべてのPDFファイルの登録が終われば作業終了です。PDFファイルのプリントの場合は、自動でオーダーがカウントアップされるので、「F3」キーを押してオーダーをカウントアップする必要はありません。

## 9. 入力メディアを取り出します。

以上で、PDFファイルをプリントする作業は終わりです。

### 3.1.3 ネットオーダー経由でオーダーを受け付ける場合、入力機器側で指定された内容に従い、オーダーの受け付け、プリントができるようになりました。

ネットオーダー経由でオーダーを受け付けるとは、NTOインターフェース（弊社が提供する通信方法のこと）に対応した入力機器からのオーダーをEZ Controllerで受け付けてプリントすることです。

このNTOインターフェースに対応した入力機器側で次のような指定があった場合、その指定に従い、オーダーの受け付け、プリントができます。

- コマごとの白フチ幅指定
- コマごとのペーパーフィッティング指定
- 優先度の指定
- プリント方式の指定
- EZ Controllerがオーダーを受け取ったとき、すぐに処理を開始せず一時停止する指定
- コマごとの解像度、階調性の指定  
ただし、この指定をするには、入力機器側のNTOインターフェースをVer3.0にする必要があります。
- 部数のソート指定（片面、両面）  
ただし、この指定をするには、入力機器側のNTOインターフェースをVer3.0にする必要があります。

また、NTOインターフェースに対応した入力機器からのオーダーで、処理できる1オーダー内の最大画像数が999画像から9999画像まで増えました。また、処理できる1コマの最大プリント枚数も999枚から9999枚まで増えました。

### 3.1.4 QSS-35PLUSシリーズより前に発売されたQSSプリンターをEZ Controllerに接続して、プリントできるようになりました。

NetOrder Printer Connection Software（オプション）を使用すれば、QSS-35PLUSシリーズより前に発売されたQSSプリンターをEZ Controllerに接続し、プリントすることができます。

QSS-35PLUSシリーズより前に発売されたQSSプリンターのことを「NetOrderプリンター」と呼びます。

#### EZ Controllerに接続できるNetOrderプリンター

プリンター	対応バージョン
QSS-3101-1、QSS-3111-1	G001以降
QSS-3102、QSS-31PRO TURBO	2.00以降
QSS-3102-2、QSS-3112-2	1.00以降
QSS-3411、QSS-34PRO	1.00以降
QSS-3412、QSS-3412SA	1.00以降
QSS-320#、QSS-321#、QSS-320#PRO	3.00以降
QSS-330#、QSS-331#、QSS-3302PRO	2.00以降
QSS-3300、QSS-3300PRO	2.00以降
QSS-330#SD	1.00以降
QSS-3300i	1.01以降
QSS-320#SD、QSS-320#SD PRO	1.00以降
QSS-3501i	1.00以降
QSS-350#	2.00以降
LPS-24PRO	2.00以降

「#」は、1、2、3のいずれかの数値を表します。

NetOrder Printer Connection Software（オプション）を別途準備し、接続するNetOrderプリンターにインストールしてください。

ここでは、NetOrderプリンターでプリントするための基本的な設定について説明しています。また、NetOrderプリンターでプリントするにあたり、いくつかの制限事項もあります。詳しくは「NetOrder Printer Connection Software」の取扱説明書をご覧ください。

### 設定手順

EZ Controller、NetOrderプリンターのネットワーク接続は完了しているものとして、EZ Controllerに関する設定項目だけ説明します。

#### 1. EZ Controllerで接続したプリンターを登録します。

- (1)「プリンター設定」画面を表示します。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “システム管理” “プリンター設定”

- (2)「追加」ボタンをクリックします。  
追加できるプリンターを検索します。

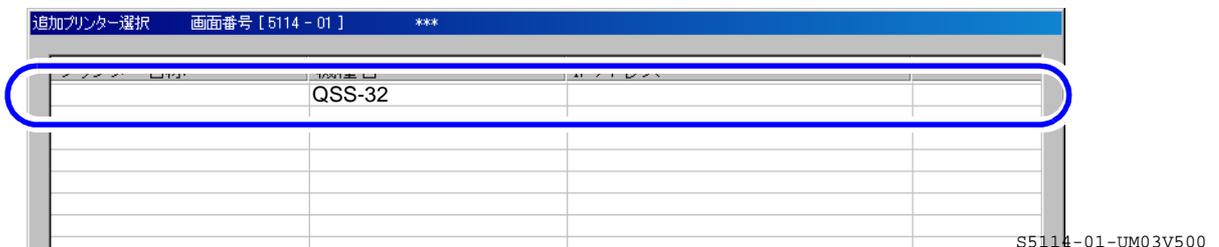
(例)「プリンター設定」画面



検索が終了すると、「追加プリンター選択」画面が表示されます。

- (3) 追加するプリンターを選択し、「選択」ボタンをクリックします。

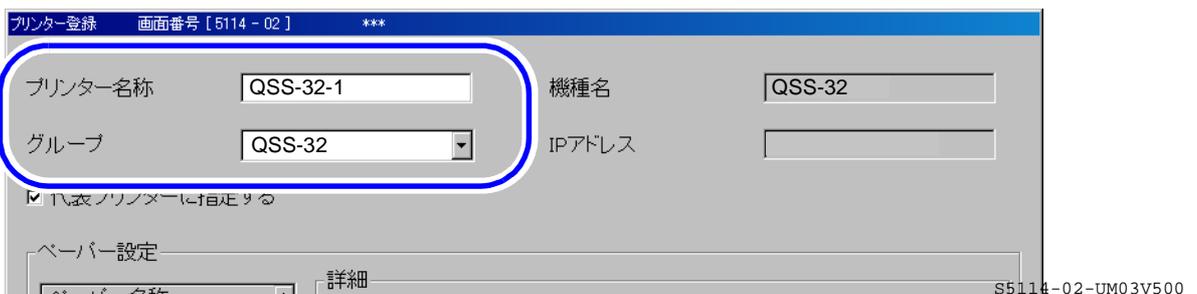
(例)「追加プリンター選択」画面



「プリンター登録」画面が表示されます。

- (4)「プリンター名称」と、プリンターが所属する「グループ」の名前を入力します。  
入力できる文字数は、半角12文字（全角の場合は6文字）までです。  
「グループ」は、「プリンター名称」と同じ名前では登録できません。  
すでに登録済みの「グループ」に所属させる場合は、所属するグループを選択します。

(例)「プリンター登録」画面



- (5) プリンターをグループの代表プリンターに指定する場合は、「代表プリンターに指定する」にチェックを入れます。  
1グループ内では、必ずいずれかのプリンター 1台を代表プリンターに指定する必要があります。

(例)「プリンター登録」画面

- (6) 「登録」ボタンをクリックします。  
設定内容が登録され、「プリンター設定」画面に戻ります。

## 2. プリンタープロファイルの設定をします。

- (1) 「カラーマネージメント設定」画面の「プリンタープロファイル設定」タブを表示します。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “システム管理” “画像処理設定” “カラーマネージメント設定” “プリンタープロファイル設定”タブをクリック

- (2) プロファイルを設定するプリンターの種類を選択します。

▼(三角マーク)をクリックすると、接続されているプリンター No.、グループ名、機種名が表示されます。

- (3) プロファイルを設定します。

選択項目	内容
ON	設定したプロファイルを使用します。
OFF	設定したプロファイルを使用しません。
カスタムプロファイル番号	任意に登録したプリンタープロファイルの色情報を使用してプリントします。登録されているプリンタープロファイルから選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>任意のプリンタープロファイルの登録については、「取扱説明書」をご覧ください。</li> </ul>

(4)「OK」ボタンをクリックします。

### 3. プリントチャンネルを設定します。

(1)「プリントチャンネル設定」画面を表示します。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “プリントチャンネル” “プリントチャンネル選択”画面で「通常プリント」のプリントチャンネルを選択し、「設定」ボタンをクリック

(2) ペーパーの設定をします。

前の手順で登録したプリンター、あるいはプリンターグループを選択し、使用するペーパーの種類を選択します。



S5103-00-UM35V500

その他の設定は、通常のプリントチャンネルの設定と同じです。必要に応じて設定を行ってください。

(3)「OK」ボタンをクリックします。

以上で、NetOrderプリンターでプリントするための設定手順は終わりです。

#### プリント手順

プリント手順は、通常のプリント手順と同じです。設定したプリントチャンネルを選択してからオーダーの登録を行ってください。

### 3.1.5 DNP（大日本印刷）製のプリンター（DS40/DS80）をEZ Controllerに接続して、プリントできるようになりました。



G095951V500

以下のDNP（大日本印刷）製のプリンターが使用できます。プリンターは別途お客様にて準備してください。

- DS40  
 プリントできるサイズ(単位:mm)  
 127×89、127×178、152×101、152×203、152×229
- DS80  
 プリントできるサイズ(単位:mm)  
 127×89、127×178、152×101、152×203、152×229

203×102、203×127、203×152、203×203、203×254、203×305

**参考**

- DS80では、使用できるペーパーのペーパー幅が203mmです。  
そのため、127×89、127×178、152×101、152×203、152×229のプリントサイズでも、203mm幅のペーパーにプリントされます。

ここでは、DS40/DS80でプリントするための基本的な設定について説明しています。また、DS40/DS80でプリントをするにあたり、いくつか制限事項もあります。詳しくはEZ Controllerの取扱説明書「2.13 プリンター (DS40/DS80) でプリントする」をご覧ください。

**設定手順**

**1. プリンターの設置、セットアップをします。**

この作業は、お客様ご自身で行うか、プリンターの購入元に依頼して行ってください。

- プリンターの設置
- EZ Controllerをインストールしている操作パソコンとプリンターの接続 (USB接続)
- プリンターに付属のプリンタードライバ、各ソフトのインストール
- 出力確認 (テストプリント)  
プリンタードライバのテストプリント機能を使用します。

**2. DS40/DS80のプリンタードライバの設定を変更します。**

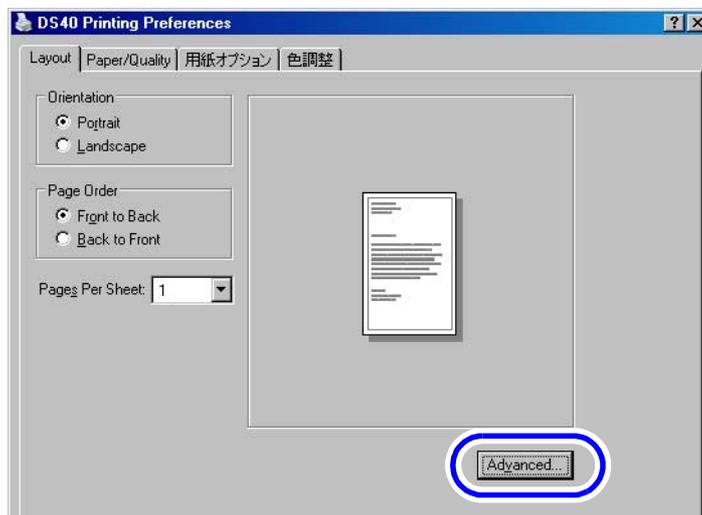
ここでは、EZ ControllerからのオーダーをDS40/DS80でプリントするために必要な設定をします。

**(1) プリンタードライバの「印刷設定」画面を表示します。**

画面の表示方法

“スタート” “プリンタとFAX” DS40、またはDS80を選択し、右クリック 右クリックして表示されたメニューから「印刷設定」を選択

**(2) 「詳細設定」ボタンをクリックします。**



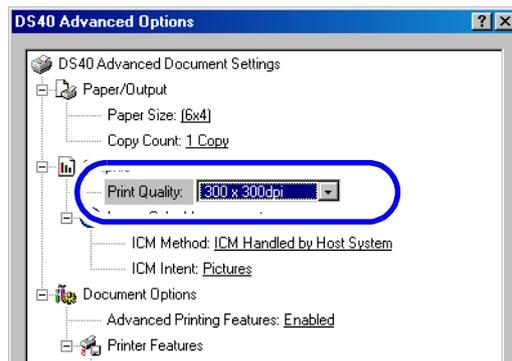
S095948V500

「詳細オプション」画面が表示されます。

**(3) 「印刷品質」の設定を「300dpi×300dpi」、または「600dpi×600dpi」にします。**

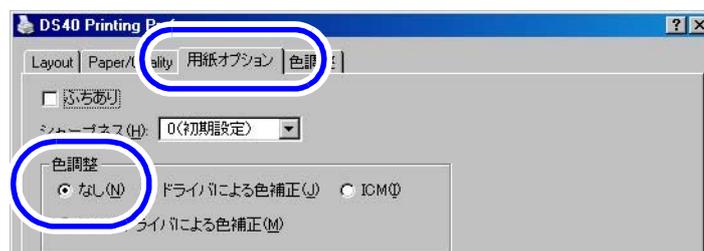


- 「印刷品質」の設定が「300dpi×600dpi」だと、正しくプリントできないため、必ず「300dpi×300dpi」と「600dpi×600dpi」のどちらかに設定してください。



S095949V500

- (4) 「OK」 ボタンをクリックします。
- (5) 「用紙オプション」 タブを選択し、「色調整」の設定を「なし」を選択します。



S095950V500

- (6) 「印刷設定」画面で「OK」ボタンをクリックします。

### 3. EZ Controller側で、接続したプリンターを登録します。

ここからは、EZ Controllerでの作業です。

- (1) 「プリンター設定」画面を表示します。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “システム管理” “プリンター設定”

- (2) 「追加」ボタンをクリックします。  
追加できるプリンターを検索します。

(例) 「プリンター設定」画面



S5114-00-UM04V500

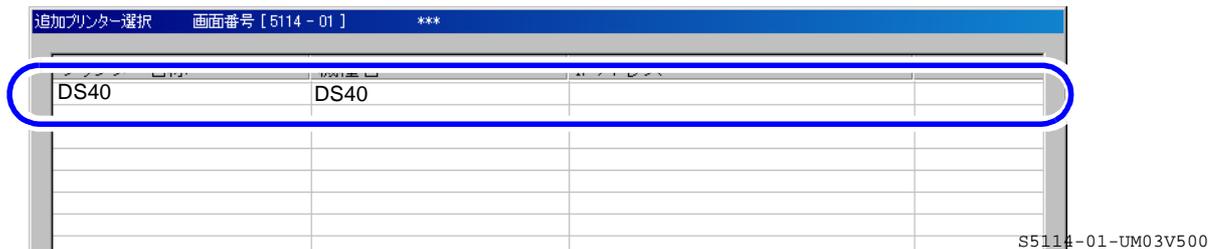
検索が終了すると、「追加プリンター選択」画面が表示されます。

- (3) 追加するプリンターを選択し、「選択」ボタンをクリックします。

参考

- USB接続のため、IPアドレスは表示されません。

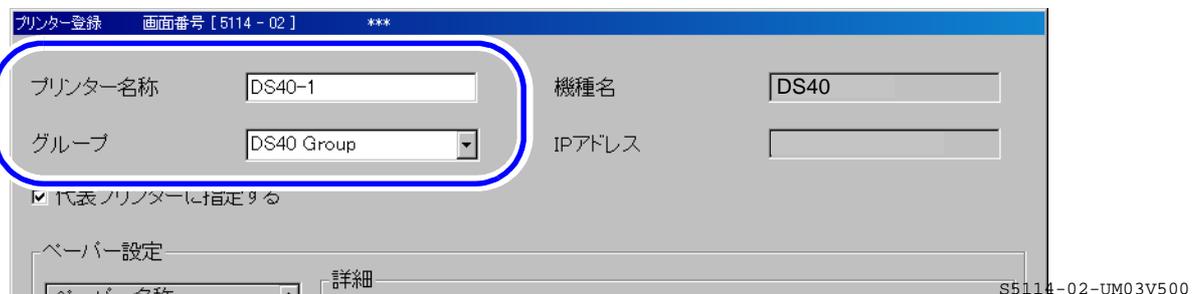
## (例)「追加プリンター選択」画面



「プリンター登録」画面が表示されます。

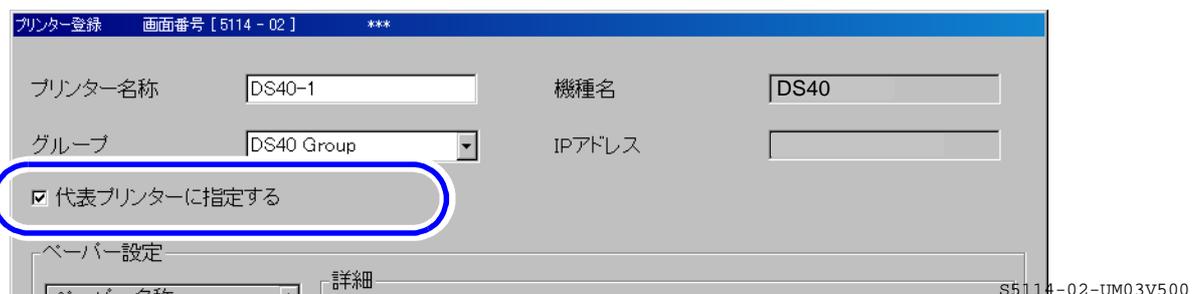
- (4)「プリンター名称」と、プリンターが所属する「グループ」の名前を入力します。  
 入力できる文字数は、半角12文字（全角の場合は6文字）までです。  
 「グループ」は、「プリンター名称」と同じ名前では登録できません。  
 すでに登録済みの「グループ」に所属させる場合は、所属するグループを選択します。

## (例)「プリンター登録」画面



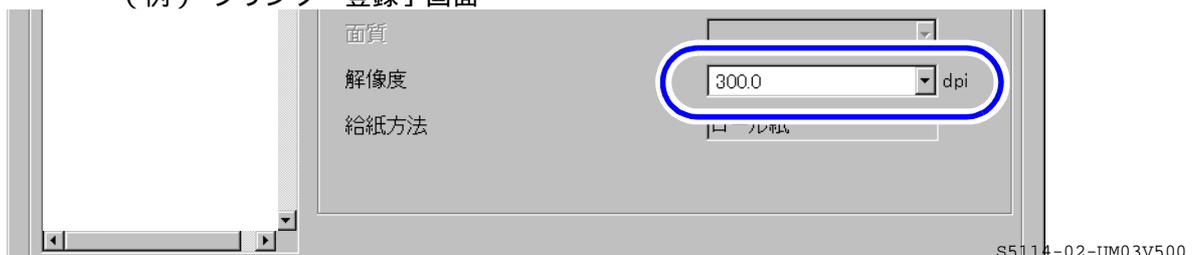
- (5) プリンターをグループの代表プリンターに指定する場合は、「代表プリンターに指定する」にチェックを入れます。  
 1グループ内では、必ずいずれかのプリンター 1台を代表プリンターに指定する必要があります。

## (例)「プリンター登録」画面



- (6)「解像度」を設定します。  
 手順 2で設定したプリンタードライバの「印刷品質」の設定に合わせてください。  
 プリンタードライバの「印刷品質」が「300dpi×300dpi」なら「300dpi」に、「600dpi×600dpi」なら「600dpi」にします。

## (例)「プリンター登録」画面

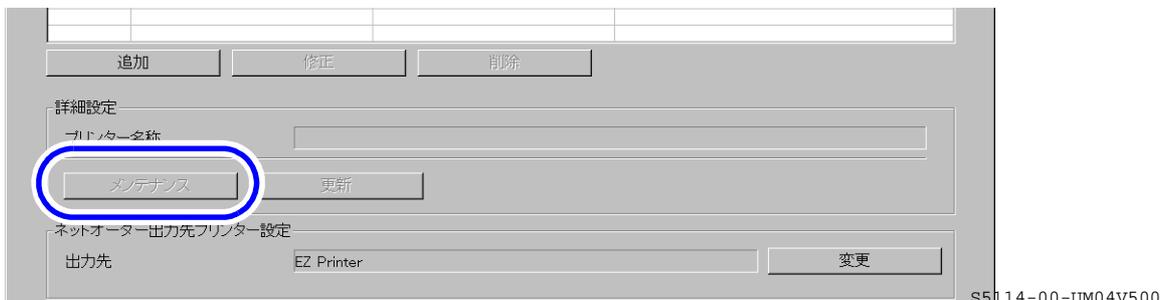


- (7)「登録」ボタンをクリックします。  
 設定内容が登録され、「プリンター設定」画面に戻ります。

4. 使用するペーパーの設定を確認し、必要に応じて変更、追加します。

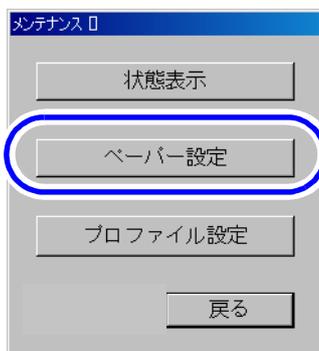
あらかじめプリンタードライバで設定されているペーパーサイズがEZ Controllerにも登録されています。

- (1)「プリンター設定」画面で、登録したプリンターを選択し、「メンテナンス」ボタンをクリックします。



「メンテナンス」画面が表示されます。

- (2)「ペーパー設定」ボタンをクリックします。

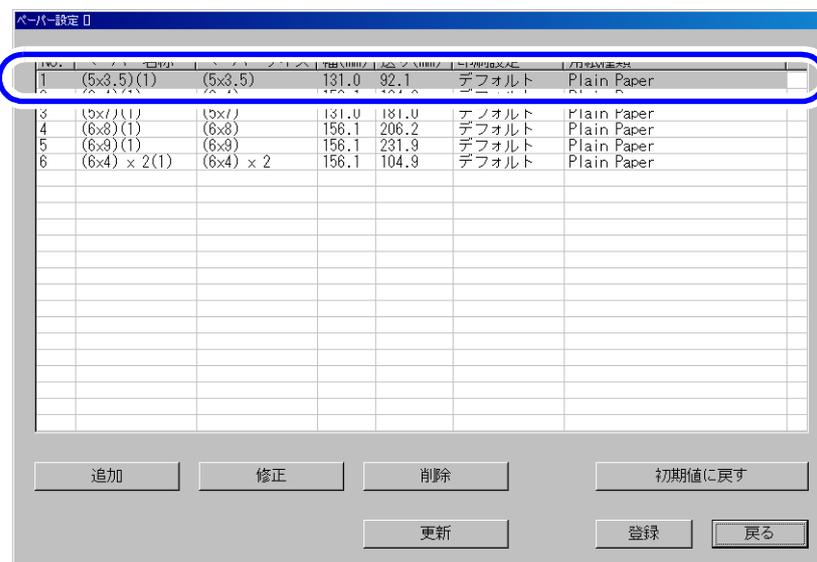


「ペーパー設定」画面が表示されます。

- (3) 使用するペーパーを確認します。

あらかじめ、プリンタードライバで設定されているペーパーサイズが登録されています。必要に応じて、現在登録している内容の変更や新規追加をします。

- 詳細については、EZ Controllerの取扱説明書「2.13 プリンター（DS40/DS80）でプリントする」をご覧ください。



S5114-00-UM04V500

S095943V500

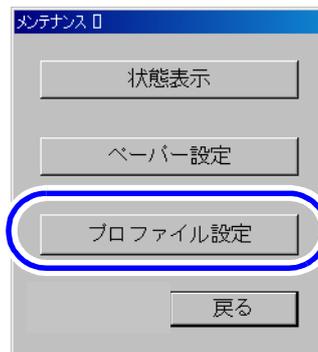
S095944V500

- (4)「戻る」ボタンをクリックします。  
「メンテナンス」画面に戻ります。

## 5. プロファイルの設定を確認し、必要に応じて変更します。

用紙の種類は「Plain Paper」という1種類のみです。必要に応じて、使用したいプロファイルを設定します。

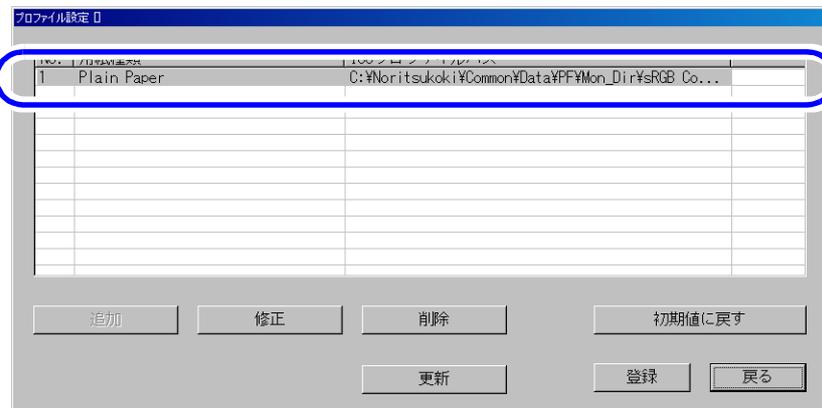
- (1)「プロファイル設定」ボタンをクリックします。



S095943V500

「プロファイル設定」画面が表示されます。

- (2) プロファイルを確認し、必要に応じて、プロファイルを変更します。
- プロファイルの変更については、EZ Controllerの取扱説明書「2.13 プリンター (DS40/DS80) でプリントする」をご覧ください。



S095946V500

- (3)「戻る」ボタンをクリックします。  
「メンテナンス」画面に戻ります。

## 6. 前の手順で確認したプロファイルを使用できるように設定します。

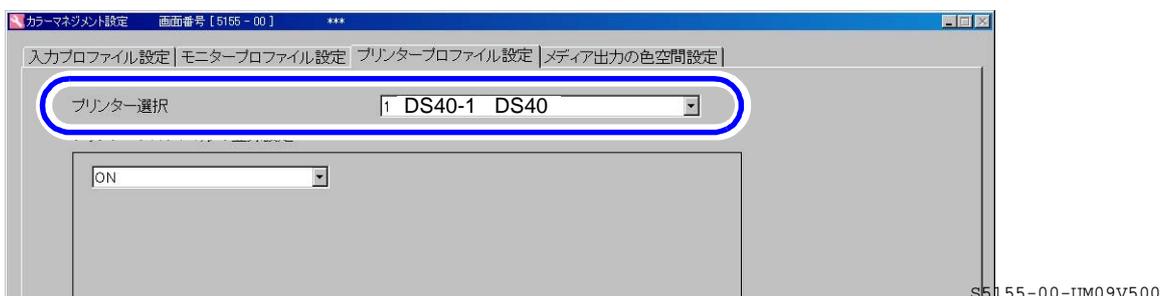
- (1)「カラーマネージメント設定」画面の「プリンタープロファイル設定」タブを表示します。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “システム管理” “画像処理設定” “カラーマネージメント設定” “プリンタープロファイル設定” タブをクリック

(2) プロファイルを設定するプリンターの種類を選択します。

▼(三角マーク)をクリックすると、接続されているプリンター No.、グループ名、機種名が表示されます。



(3) プロファイルを設定します。



選択項目	内容
ON	設定したプロファイルを使用します。
OFF	設定したプロファイルを使用しません。

(4)「OK」ボタンをクリックします。

## 7. プリントチャンネルを設定します。

(1)「プリントチャンネル設定」画面を表示します。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “プリントチャンネル” “プリントチャンネル選択”画面でプリントチャンネルを選択し、「設定」ボタンをクリック

(2) ペーパーの設定をします。

前の手順で登録したプリンター、あるいはプリンターグループを選択し、使用するペーパーの種類を選択します。



S5103-00-UM35V500

プリントチャンネルの設定項目で、「プリント設定」タブ内では、以下の項目は設定できない、あるいは設定してもその機能は働きません。

- 送り (プリントサイズにより固定)
- 仮想ペーパー幅
- 露光位置補正

- CVP
- コマ毎のソート機能
- 「メディアプリントペーパーフィッティング」の「短辺送り」「長辺送り」
- 「印刷方法（ドライミニラボ）」



### 重要

- 「白縁幅」の設定はできますが、プリンターの印刷可能領域の関係により、2mm多く設定してください。白縁幅を2mmにしたいなら、4mmと設定します。  
また、DS40/DS80のプリンタードライバの設定画面で、「ふちあり」の設定をチェックなしにしておく必要があります。



(3) 「OK」ボタンをクリックします。

以上で、DS40/DS80でプリントするための設定手順は終わりです。

### プリント手順

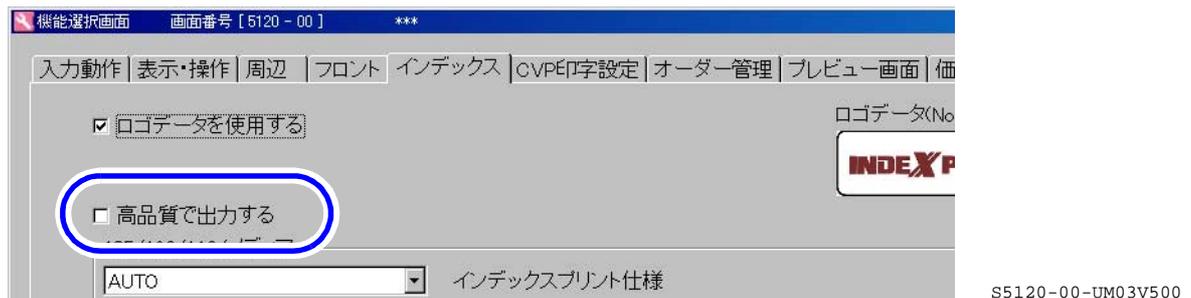
プリント手順は、通常のプリント手順と同じです。設定したプリントチャンネルを選択してからオーダーの登録を行ってください。

### 3.1.6 より品質の高いインデックスプリントができるようになりました。

「機能選択」画面「インデックス」タブの「高品質で出力する」にチェックを入れれば、より品質の高いインデックスプリントができます。

#### 画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “機能選択” “機能選択”画面で「インデックス」タブをクリック



### 重要

- ラベルインデックスプリントには対応していません。
- フィルムからのリプリント時、「機能選択」画面「インデックス」タブの「パスコマのインデックス」にチェックを入れ、パスコマもインデックスプリントする場合は、「オーダー画面」の「リプリント」タブの「パスコマの本スキャン」ボタンを必ずONにしてください。
- 「高品質で出力する」を有効にしてプリント後、「高品質で出力する」を無効にしてリオーダーをした場合、通常のインデックスプリントになります。
- 「高品質で出力する」が有効の場合は、無効の場合に比べ、処理に時間がかかります。

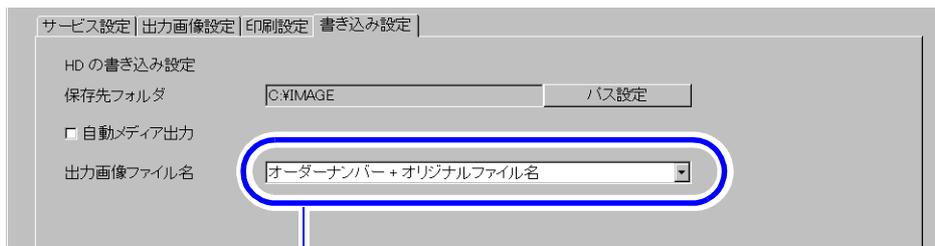
### 3.1.7 メディア出力するときに、各ファイルに付けられるファイル名の付け方を選択できませんが、CDやDVDなどを含め、すべてのメディアに対して、ファイル名の選択が

できるようになりました。またファイル名の選択肢に、「オーダーナンバー + オリジナルファイル名」を追加しました。

これまで、ハードディスクなど一部のメディアへのメディア出力するときにしか各ファイルに付けられるファイル名の選択はできませんでしたが、すべてのメディアに対してファイル名の選択ができます。また、ファイル名の選択肢に、「オーダーナンバー + オリジナルファイル名」を追加しました。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “システム管理” “出力メディア” “書き込み設定タブ”



すべてのメディアに対して、ファイル名の選択ができます。

S5080-00-UM21V500

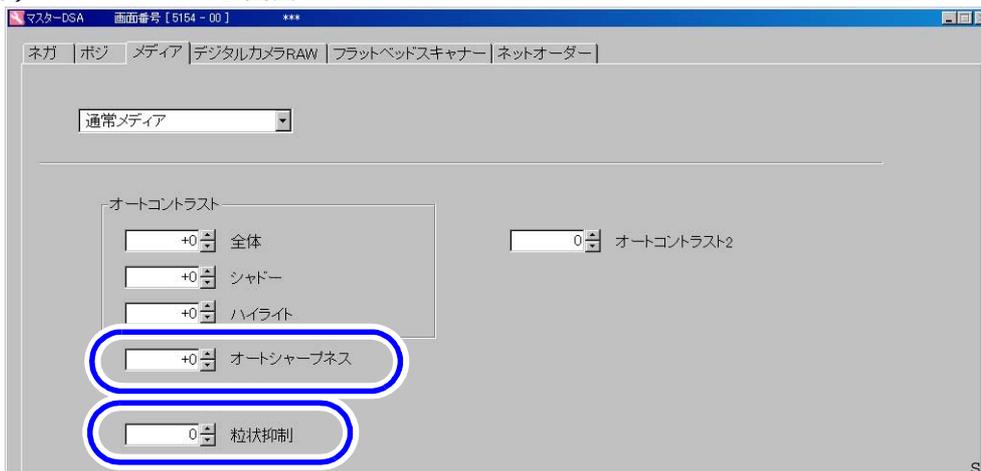
**重要**

- 「書き込みフォルダ形式」を「DCF」または「DCF+Pictures」に設定している場合で、この設定が「オーダーナンバー + ファイル番号」以外のときは、ファイル名がDCF規格に準拠したファイル名や、文字数にならない場合があります。

### 3.1.8 DSA補正の「オートシャープネス」と「粒状抑制」の設定可能範囲を広げました。

入力メディアの種類が「メディア」「フラットベッドスキャナー」「ネットオーダー」「デジタルカメラRAW」のとき、DSA補正の「オートシャープネス」の設定可能範囲が「-99から+99」、「粒状抑制」の設定可能範囲が「0から+50」になります。

(例)「マスター DSA」画面



S51154-00-UM07V500

### 3.1.9 Windows VistaのUser権限でもEZ Controllerが使用できるようになりました。

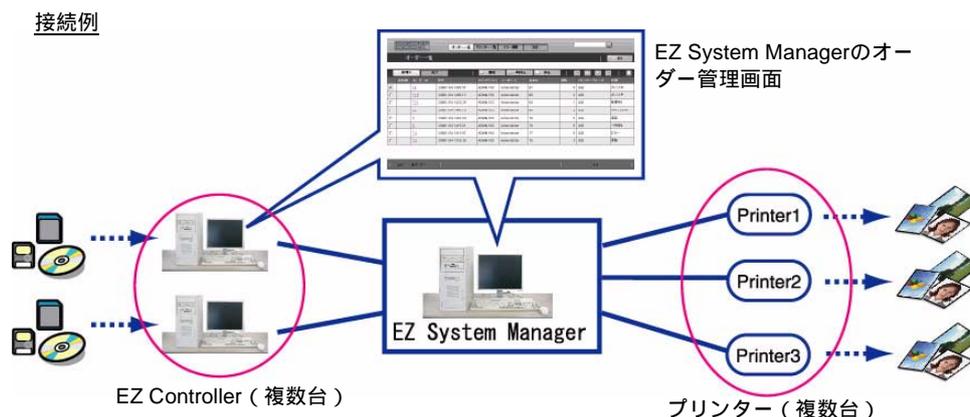
### 3.1.10 EZ ControllerをEZ System Managerに接続できるようになりました。

EZ System Manager (オプション)とは、主に以下のような機能を持ったオーダー管理ソフトです。

- オーダー管理機能  
入力機器からのオーダーを一元管理し、プリント順の変更ができます。
- リプリント機能  
一度プリントしたオーダーを保管しておき、再度プリントすることができます。

- 入力機器、あるいはプリンターを複数接続可能  
複数の入力機器からのオーダーを受け付けることができます。  
ドライミニラボ以外のQSSプリンターを複数接続してプリントすることができます。  
ただし、オーダーごとにプリントするプリンターを指定する必要があります。出力先をグループ指定して、グループ内にあるプリンターに振り分けてプリントすることはできません。
- オーダー管理画面は入力機器側でも確認、操作が可能  
オーダー管理画面はWEBアプリケーションであるため、入力機器側から「EZ System Manager」がインストールされているパソコンにアクセスし、オーダー管理画面を見ることができ、また操作もすることができます。

EZ Controllerを入力機器として複数台使用したい場合、またはドライミニラボ以外のQSSプリンターを複数台使用したい場合に必要なオプションです。



G095935V500

ここでは、EZ ControllerをEZ System Managerに接続するために必要な設定を説明します。  
プリント方法やEZ System Manager側での操作については、EZ System Managerの取扱説明書をご覧ください。

#### 参考

- EZ Controllerの画面上では、EZ System Managerのことを「EZSM」と略して表現しています。

#### 設定手順

EZ Controller、EZ System Manager、プリンターのネットワーク接続は完了しているものとして、EZ Controllerに関する設定項目だけ説明します。

#### 1. EZ System Manager側のパソコンに共有フォルダを作成します。

EZ ControllerとEZ System Managerの間で画像の受け渡しをするための共有フォルダを、EZ System Manager側のパソコンに作成する必要があります。  
共有フォルダは、Cドライブに作成することを推奨します。特にフォルダ名の指定はありません。  
また、複数のEZ ControllerをEZ System Managerに接続する場合も、共有フォルダは1つでかまいません。

- (1) EZ System ManagerをインストールしているパソコンのCドライブに任意の名前を付けた共有フォルダを作成します。

(例) 共有フォルダ (フォルダ名: EZSMOrders)

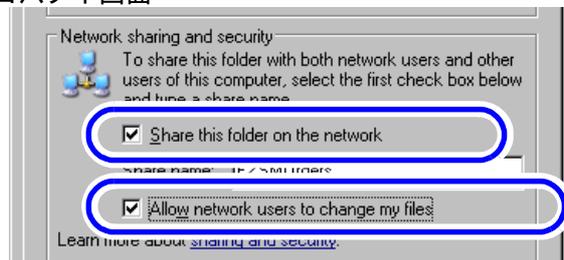


S095936

- (2) 作成したフォルダを右クリックして、プロパティ画面を表示し、「Sharing (共有)」タブを選択します。

- (3) 「Share this folder on the network ( ネットワーク上でこのフォルダを共有する )」、「Allow network users to change my files ( ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する )」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。

(例) プロパティ画面



S095955V500

参考

- 共有フォルダのプロパティ画面は、OSの設定により異なる場合がありますが、上記と異なる画面の場合は、共有フォルダが書き込みをできるように設定してください。

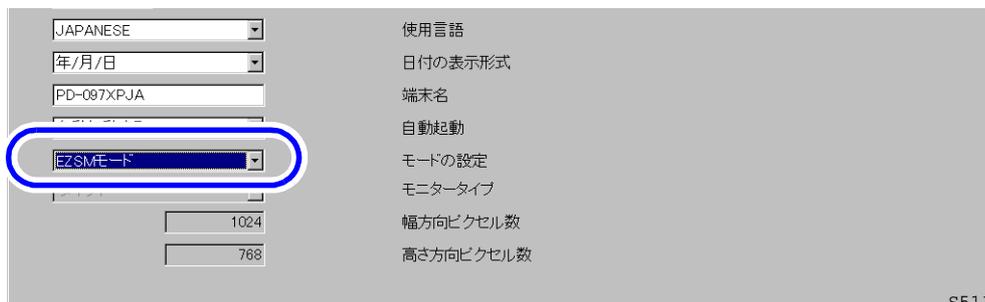
2. 「システム設定」画面を表示します。

ここからは、EZ Controller側での作業です。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “システム管理” “システム設定”

3. 「モードの設定」で、「EZSMモード」を選択します。



S5111-00-UM03V500

4. 「OK」ボタンをクリックします。

お知らせメッセージが表示されます。

5. お知らせメッセージで「YES」ボタンをクリックします。

EZ Controllerが再起動します。

再起動後、EZ Controllerには、EZ System Managerとの接続に関する設定をする「EZSM設定」画面が追加されています。

重要

- 「モードの設定」を「スタンダードモード」↔「EZSMモード」のように切り替えた場合、プリントチャンネルの「ペーパー設定」を設定し直す必要があります。
- 「モードの設定」を「スタンダードモード」↔「EZSMモード」のように切り替えた場合、ネットオーダー経由でプリントするときのプリンターの指定を設定し直す必要があります。
- 「モードの設定」を「スタンダードモード」↔「EZSMモード」のように切り替えた場合、処理済みオーダーが削除されます。

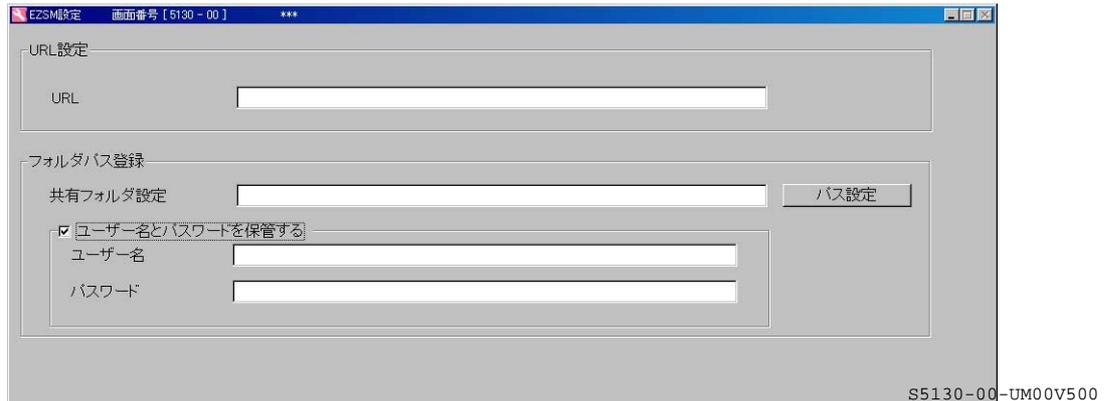
## 6. 「EZSM設定」画面の設定をします。

### (1) 「EZSM設定」画面を表示します。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “システム管理” “EZSM設定”

### (2) 各項目を設定します。



項目	内容
URL設定	接続しているEZ System ManagerのURLを設定します。 URLは、「http://###.###.###.###/」( #は、任意の数値) です。 「###.###.###.###」は、EZ System ManagerをインストールしているパソコンのIPアドレスです。
フォルダパス登録	手順 1で設定した共有フォルダのパスを登録します。
ユーザー名とパスワードを保管する	EZ System Manager側のパソコンの共有フォルダにアクセスするためのユーザー名とパスワードを保管する場合は、チェックを入れます。
ユーザー名	「ユーザー名とパスワードを保管する」にチェックを入れ、共有フォルダにアクセスするためのユーザー名を登録します。(最大半角64文字)
パスワード	「ユーザー名とパスワードを保管する」にチェックを入れ、共有フォルダにアクセスするためのパスワードを登録します。(最大半角64文字)

### (3) 「OK」ボタンをクリックします。

再起動の確認メッセージが表示されます。

### (4) メッセージ上で「YES」ボタンをクリックします。

EZ Controllerが再起動します。

## 7. 各プリントチャンネルの「ペーパー設定」を設定し直します。

「モードの設定」を「スタンダードモード」↔「EZSMモード」のように切り替えた場合、プリントチャンネルの「ペーパー設定」がいったん初期化されます。「ペーパー設定」をEZ System Managerに接続されているプリンターに変更します。

### (1) 「プリントチャンネル設定」画面を表示します。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “プリントチャンネル” “プリントチャンネル選択”画面でプリントチャンネルを選択し、「設定」ボタンをクリック

### (2) ペーパーの設定をします。

EZ System Managerに接続されているプリンターが選択できるので、プリンターを選択し、使用するペーパーの種類を選択します。

ただし、プリンターのグループ指定はできません。プリンター単体を指定してください。



S5103-00-UM33V500

- (3) 「OK」ボタンをクリックします。  
設定内容が登録されます。

- (4) すべてのプリントチャンネルについて、「ペーパー設定」を設定し直します。

## 8. ネットオーダー経由で受け付けたオーダーをプリントするプリンターを設定し直します。

「モードの設定」を「スタンダードモード」↔「EZSMモード」のように切り替えた場合、ネットオーダー経由でプリントするときのプリンターの設定がいったん初期化されます。EZ System Managerに接続されているプリンターに変更します。

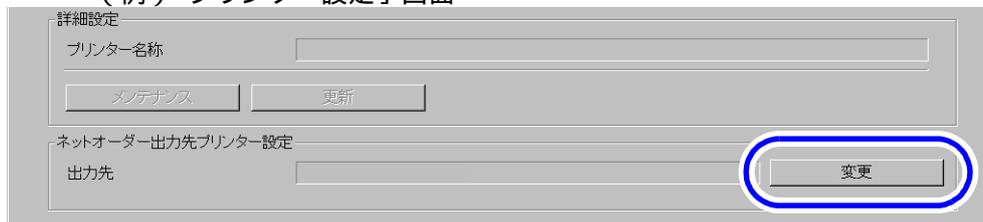
- (1) 「プリンター設定」画面を表示します。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “システム管理” “プリンター設定”

- (2) 「プリンター設定」画面で、「ネットオーダー出力先プリンター設定」にある「変更」ボタンをクリックします。

(例) 「プリンター設定」画面



S5114-00-UM04V500

「ネットオーダー出力先プリンター選択」画面が表示されます。

- (3) ネットオーダー経由で受け付けたオーダーをプリントするプリンターを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

EZ System Managerに接続されているプリンターが選択できるので、プリンターを選択します。ただし、プリンターのグループ指定はできません。プリンター単体を指定してください。

(例) 「ネットオーダー出力先プリンター選択」画面



S5114-03-UM00V500

以上で、EZ System Managerと接続するためのEZ Controllerの設定は終わりです。

### プリント手順

プリント手順は、通常のプリント手順と同じです。

### 制限事項

- 「コントローラメイン画面」で、「お渡し時間」は表示されません。

- 「コントローラメイン画面」で、各オーダーの一時停止とその再開、割り込み処理はできません。各オーダーの一時停止とその再開は、EZ System Managerの画面で行います。割り込み処理はできないので、あらかじめ優先度の設定を「超特急仕上げ」にしてからオーダーを登録してください。また、「超特急仕上げ」以外は、どの優先度を選択しても「通常仕上げ」となります。
- EZ Controllerの画面からプリンターの「始業点検」「終業点検」はできません。プリンターの「始業点検」「終業点検」は、EZ System Managerの画面から行います。
- 「プリンター設定」画面で、プリンターの追加と削除、プリンター登録内容の修正、プリンターのメンテナンスアプリケーションを表示することはできません。「更新」ボタンのみ有効です。プリンターに関する設定は、EZ System Managerの画面で行います。プリンターの設定に変更があった場合は、「更新」ボタンをクリックするか、EZ Controllerを再起動して、プリンターの設定内容を更新してください。
- 「ショートカット機能」のうち、「[QSS] セットアップ」などプリンターの画面を表示するショートカットは使用できません。また、任意に登録できるショートカットも初期化されます。
- 「ネットワーク端末設定」画面の各ネットワーク端末の設定項目で、「オーダー受付時の操作」が「開始状態にする」に固定されます。ネットワーク端末からオーダーを受け付けた場合、自動的に処理が開始されます。「コントローラメイン画面」でいったん停止させることはできません。
- Ver.4.1で追加になった「プリンターを複数台接続している場合、オーダーを登録後にも出力するプリンターを変更できる」機能は、使用できません。

### 3.1.11 Connection S/W for LFP/Epson (オプション) を使用して、EZ Controllerに接続できるEpson製の幅広プリンターの種類が増えました。

接続できるEpson製幅広プリンターは次のとおりです。(2009年4月現在)

✓: 接続可能

-: 接続できない

日本国内向け

プリンター名	接続可否	備考
MAXART PX-5500	✓	
MAXART PX-5600	✓	
MAXART PX-5800	✓	
MAXART PX-6000	-	
MAXART PX-6000S	-	
MAXART PX-6200S	✓	
MAXART PX-6250S	✓	
MAXART PX-6500	✓	
MAXART PX-6550	✓	
MAXART PX-7000	-	
MAXART PX-7500	✓	
MAXART PX-7500N	✓	
MAXART PX-7500S	✓	
MAXART PX-7550	✓	
MAXART PX-7550S	✓	
MAXART PX-9000	-	
MAXART PX-9500	✓	ただし、A1 PLUSサイズ (609.6mm×914.4mm) を超えるプリントはできません。
MAXART PX-9500N	✓	ただし、A1 PLUSサイズ (609.6mm×914.4mm) を超えるプリントはできません。
MAXART PX-9500S	✓	ただし、A1 PLUSサイズ (609.6mm×914.4mm) を超えるプリントはできません。
MAXART PX-9550	✓	ただし、A1 PLUSサイズ (609.6mm×914.4mm) を超えるプリントはできません。
MAXART PX-9550S	✓	ただし、A1 PLUSサイズ (609.6mm×914.4mm) を超えるプリントはできません。

プリンター名	接続可否	備考
MAXART PX-10000	－	
MAXART PX-20000	✓	
MAXART PX-H8000	✓	
MAXART PX-H10000	✓	

日本国外向け

プリンター名	接続可否	備考
Stylus Pro 3800	✓	
Stylus Pro 3850	－	
Stylus Pro 4400	－	
Stylus Pro 4450	－	
Stylus Pro 4800	✓	
Stylus Pro 4880	✓	
Stylus Pro 7400	－	
Stylus Pro 7450	－	
Stylus Pro 7600	－	
Stylus Pro 7800	✓	
Stylus Pro 7880	✓	
Stylus Pro 7900	✓	
Stylus Pro 9400	✓	ただし、A1 PLUSサイズ（609.6mm×914.4mm）を超えるプリントはできません。
Stylus Pro 9450	✓	ただし、A1 PLUSサイズ（609.6mm×914.4mm）を超えるプリントはできません。
Stylus Pro 9800	✓	ただし、A1 PLUSサイズ（609.6mm×914.4mm）を超えるプリントはできません。
Stylus Pro 9880	✓	ただし、A1 PLUSサイズ（609.6mm×914.4mm）を超えるプリントはできません。
Stylus Pro 9900	✓	ただし、A1 PLUSサイズ（609.6mm×914.4mm）を超えるプリントはできません。
Stylus Pro 10600	✓	ただし、A1 PLUSサイズ（609.6mm×914.4mm）を超えるプリントはできません。
Stylus Pro 11880	✓	
Stylus Pro Photo R2880	－	

3.1.12 「管理ツール」画面が他の画面の裏に隠れているとき、「コントローラメイン画面」の「F」ボタンをクリックすると、「管理ツール」画面が前面に表示されるになりました。



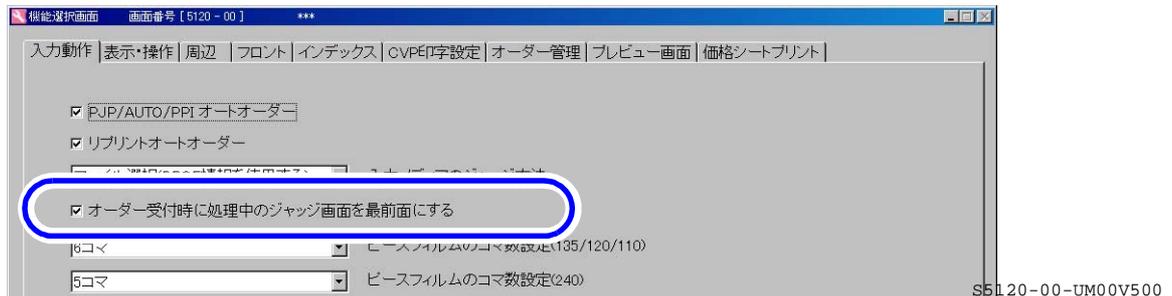
「F」ボタンをクリックすると、裏に隠れている「管理ツール」画面が前面に表示されます。

### 3.1.13 あるオーダーのジャッジ中（「ジャッジ画面」が表示されている状態）に、画面を「オーダー画面」に切り替えて次のオーダーを登録したとき、ジャッジ中であるオーダーの「ジャッジ画面」が前面に表示されるようになりました。

これまでは、あるオーダーのジャッジ中（「ジャッジ画面」が表示されている状態）に、画面を「オーダー画面」に切り替えて次のオーダーを登録したとき、ジャッジ中であるオーダーの「ジャッジ画面」が裏に隠れていることに気づかず、先に進まないという状態になってしまうことがありましたが、ジャッジ中であることに気がつくように「ジャッジ画面」を前面に表示するようにしました。  
この機能を使用するには、「機能選択」画面「入力動作」タブの「オーダー受付時に処理中のジャッジ画面を最前面にする」を有効にします。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “機能選択” “機能選択”画面で「入力動作」タブをクリック



選択項目	内容
<input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり)	あるオーダーのジャッジ中（「ジャッジ画面」が表示されている状態）に、画面を「オーダー画面」に切り替えて次のオーダーを登録したとき、ジャッジ中であるオーダーの「ジャッジ画面」が前面に表示します。
<input type="checkbox"/> (チェックなし)	この機能は働きません。

### 3.1.14 「コントローラメイン画面」の「START / STOP」ボタンをクリックして「STOP」状態のとき、Switcherの「コントローラメイン画面」アイコンが点滅して、「STOP」状態であることがわかるようになりました。



「STOP」状態



Switcherの「コントローラメイン画面」アイコンが点滅

G095939V500

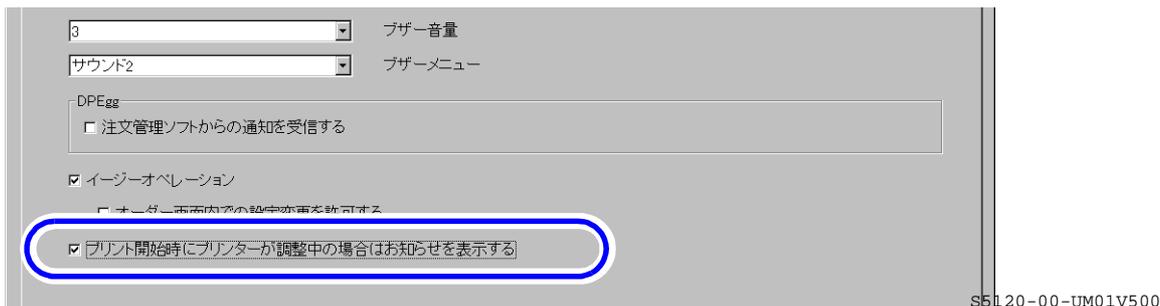
### 3.1.15 オーダーの処理を開始しようとしたときに、プリンターが調整中のときは、お知らせを表示して調整中であることがわかるようになりました。

プリンターが調整中のときはオーダーの処理が開始されません。そのことに気づかず、先に進まないという状態になってしまうことがありましたが、プリンターが調整中であることに気がつくようお知らせを表示するようにしました。

この機能を使用するには、「機能選択」画面「表示・操作」タブの「プリント開始時にプリンターが調整中の場合はお知らせを表示する」を有効にします。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “機能選択” “機能選択”画面で「表示・操作」タブをクリック



選択項目	内容
<input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり)	オーダーの処理を開始しようとしたとき、プリンターが調整中のときは、お知らせ「No.10037 プリンターが調整中です」を表示します。
<input type="checkbox"/> (チェックなし)	この機能は働きません。

### 3.1.16 処理済みオーダーを再度処理する場合、プリントするプリントチャンネルを変更できるようにになりました。

処理済みオーダーを再度処理するときには「リオーダー」画面が表示されますが、このとき、プリントするプリントチャンネルを変更することができます。

#### 設定手順

1. 「処理済み」ボタンをクリックし、処理済みオーダーの画面を表示します。

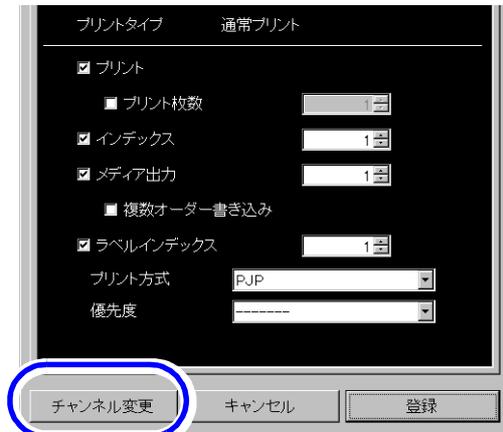


2. 目的のオーダーを選択し、「リオーダー」ボタンをクリックします。



「リオーダー」画面が表示されます。

### 3. 「チャンネル変更」ボタンをクリックします。



S095937V500

#### 重要

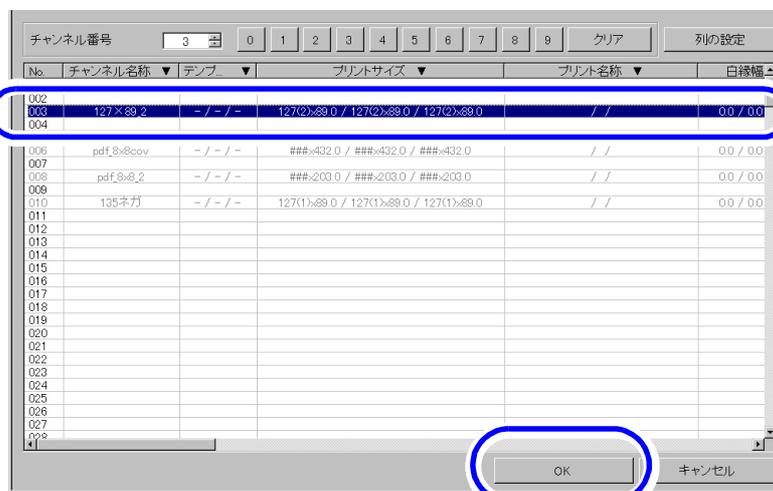
- 前回行った処理がオプションを使用したPDFファイルのプリントの場合、チャンネル変更はできません。
- 前回行った処理がノーリツ製プリンター以外のプリンターでのプリントの場合、チャンネル変更はできません。

プリントチャンネルの選択画面が表示されます。

### 4. 使用したいプリントチャンネルを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

#### 重要

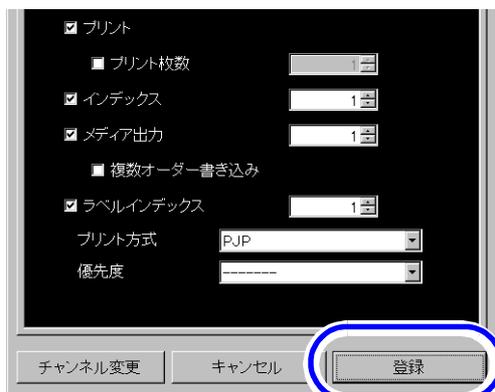
- 前回行った処理のときに使用していたプリントの種類のみ表示されます。ただし、ネットオーダー入力の場合は、「通常プリント」のプリントチャンネルを表示します。
- 前回行った処理と同じ入力メディアのプリントチャンネルのみ選択できます。ただし、ネットオーダー入力の場合は、ハードディスク入力のプリントチャンネルのみ選択できます。
- 前回行った処理が両面プリントの場合、両面プリントのプリントチャンネルのみ選択できます。
- メディア出力サービスは、前回行った処理から変更できません。
- 前回行った処理がフィルム入力で、スキャナーのスキャニング解像度の設定を「LOW」などの低解像度にしてスキャニングしていた場合、大きなプリントサイズのプリントチャンネルに変更すると、プリントの品質が低下する場合があります。



S095938V500

「リオーダー」画面に戻ります。

5. 「登録」ボタンをクリックします。



S095937V500

選択したオーダーが、処理中/処理待ちオーダーリストに移動します。



**重要**

- 「1コマ拡大表示」画面で行った作業、DSA補正は反映されないので、必要に応じて再度行ってください。

以上で、処理済みオーダーを再度処理する場合に、プリントするプリントチャンネルを変更する作業は終わりです。

### 3.1.17 「画質切り替え」画面に新しい画質タイプが追加になりました。

「画質切り替え」画面に以下の画質タイプが追加になりました。

- ネガ：タイプ2
- ポジ：タイプ2
- メディア：タイプ3
- デジタルカメラRAW：タイプ2

新しい画質タイプの特徴については、☞「3.2 画質改善」参照



**重要**

- 新しい画質タイプを使用するには、プロフィールデータを更新する必要があります。「Profile Data Vol.3 Ver.3.00」以降をインストールしてください。
- 各画質タイプでは補正が異なるので、「マスター DSA」やプリントチャンネルでのDSAの補正値が、適切な補正値にならない場合があります。そのため、「画質タイプ」を切り替えた場合は、それぞれの補正値を初期値に戻して、再度、補正値を設定してください。
- 新しい画質タイプを使用するとき、接続しているプリンターで「セットアップタイプ」の切り替えができる場合は、「セットアップタイプ2」を選択してください。
- 「画質タイプ」は、EZ ControllerをVer.5にバージョンアップしても、バージョンアップ前の設定のまま変わりません。新しい画質タイプを使用するには、次の手順にしたがって設定してください。

#### 設定手順

1. プロファイルデータを更新します。

「Profile Data Vol.3 Ver.3.00」以降をインストールします。

- インストール方法については、取扱説明書「5.9 新しいプロフィールCDのインストール」参照

2. 「画質切り替え」画面を表示します。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック “管理ツール” “システム管理” “画像処理設定” “画質切り替え”

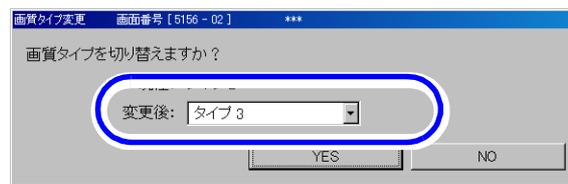
### 3. 「画質タイプ」を変更します。

(1) 入力の種類を選択し、「変更」ボタンをクリックします。



「画質タイプ変更」画面が表示されます。

(2) 目的の画質タイプを選択し、「YES」ボタンをクリックします。



「変更後：」に表示されている画質タイプに変更され、「画質切り替え」画面に戻ります。

### 4. 「戻る」ボタンをクリックして、「画質切り替え」画面を閉じます。

### 5. 「マスター DSA」やプリントチャンネルでの DSA の補正値を設定している場合は、一度初期値に戻し、必要に応じ、設定し直します。

- 詳細については、取扱説明書「5.5 画像の明暗の差、輪郭のメリハリ、色彩の補正[DSA]」参照  
以上で設定は終わりです。

### 3.1.18 デジタルカメラのRAW画像データの読み込みについて、対応できるデジタルカメラの種類が増えました。

対応できるカメラは以下のとおりです。

メーカー名	カメラ名		
キャノン	EOS-1D Mark II	EOS-1D Mark II N	EOS-1Ds Mark II
	EOS-1D Mark III	EOS-1Ds Mark III	EOS 10D
	EOS 20D	EOS 20Da	EOS 30D
	EOS 40D	EOS 5D	EOS D30
	EOS D60	EOS Kiss Digital ( EOS 300D/Digital Rebel )	EOS Kiss Digital N ( EOS 350D/Digital Rebel XT )
	EOS Kiss Digital X ( EOS 400D/Digital Rebel XTi )	PowerShot Pro 1	PowerShot S30
	PowerShot S40	PowerShot S45	PowerShot S50
	PowerShot S60	PowerShot S70	PowerShot G2
	PowerShot G3	PowerShot G5	PowerShot G6
	PowerShot G9	EOS Kiss X2 ( EOS 450D/Digital Rebel XSi )	EOS Kiss F ( EOS 1000D/Digital Rebel XS )
	PowerShot G10	EOS 5D Mark II	EOS 50D
コンタックス	N DIGITAL		
セイコーエプソン	R-D1	R-D1s	

メーカー名	カメラ名		
富士フィルム	FinePix E900	FinePix F700	FinePix IS-1
	FinePix S2 Pro	FinePix S3 Pro	FinePix S5 Pro
	FinePix S20 Pro	FinePix S5000 Z	FinePix S5200/5600
	FinePix S6000fd/S6500fd	FinePix S7000 Z	FinePix S9000/9500
	FinePix S9100/9600	S100FS	FinePix IS Pro
コダック	DCS 14n	DCS Pro 14nx	DCS720x
	DCS760	DCS Pro SLR/n	EasyShare P712
	EasyShare P850	EasyShare P880	EasyShare Z1015 IS
コニカミノルタ	α Sweet DIGITAL ( Japan )	Alpha-5 Digital ( China )	DiMAGE A1
	DiMAGE A2	DiMAGE A200	DiMAGE 5
	DiMAGE 7	DiMAGE 7i	DiMAGE 7Hi
	Maxxum Dynax 5D ( Europe )	Maxxum 5D ( USA )	Maxxum 7D/Dynax 7D ( α-7 DIGITAL )
	ALPHA-7 DIGITAL	Maxxum 7D	
リーフ	Valeo 6	Valeo 11	Valeo 17
	Valeo 22	Aptus 17	Aptus 22
	Aptus 54s	Aptus 65	Aptus 75
	Aptus 75s	Aptus 65s	AFi II 6
	AFi II 7	Aptus AFi II 6	Aptus AFi II 7
ライカ	D-Lux 2	D-Lux 3	DIGILUX 2
	Digilux 3	V-LUX 1	M8 ( DNG )
	Digital-Modul-R ( DNG )	D-LUX 4	
Mamiya	ZD		
ニコン	D1	D1H	D1X
	D100	D200	D300
	D2H	D2Hs	D2X
	D2Xs	D3	D40
	D40x	D50	D70
	D70s	D80	COOLPIX 5400
	COOLPIX 8400	COOLPIX 8700	COOLPIX 8800
	D60	D700	Coolpix P6000
	D90	D3X	
オリンパス	E-1	E-3	E-10
	E-20	E-300	E-330
	E-410	E-500	E-510
	EVOLT E-300	EVOLT E-330	EVOLT E-400
	EVOLT E-500	EVOLT E-510	C-5050 Zoom
	C-5060 Zoom	C-7070 Wide Zoom	C-8080 Wide Zoom
	SP-310	SP-320	SP-350
	SP-500UZ	SP-510UZ	SP-550 UZ
	SP-560 UZ	E-400	SP-570 UZ
	E-420	E-520	SP-565 UZ
	E-30		
パナソニック	DMC-FZ30	DMC-FZ50	DMC-L1
	DMC-LC1	DMC-L10	DMC-LX1
	DMC-LX2	DMC-FZ8	DMC-FZ18
	DMC-G1	DMC-FX150	DMC-FZ28
	DMC-LX3		

メーカー名	カメラ名		
ペンタックス	*ist D	*ist DL	*ist DL2
	*ist DS	*ist DS2	K10D
	K100D	K110D	K100D Super
	K200D	K20D	K-m ( K2000 )
Samsung	Pro 815	GX-10	GX 1S
	GX-1L	GX-20	
シグマ	SD9	SD10	SD14
	DP1		
ソニー	DSC-V3	DSC-R1	α100
	α700	α200	α350
	α300	α900	
ハッセルブラッド	H2D ( DNG )		
リコー	GR Digital	Caplio GX100	GR Digital2
	GX200		
カシオ	EXILIM EX-F1	EXILIM EX-FH20	

### 3.1.19 Ver.4.1で追加になった「プリンターを複数台接続している場合、オーダーを登録後にも出力するプリンターを変更できる機能」の使用できる条件が増えました。

Ver.4.1で追加になった「プリンターを複数台接続している場合、オーダーを登録後にも出力するプリンターを変更できる機能」が以下の場合でも使用できるようになりました。

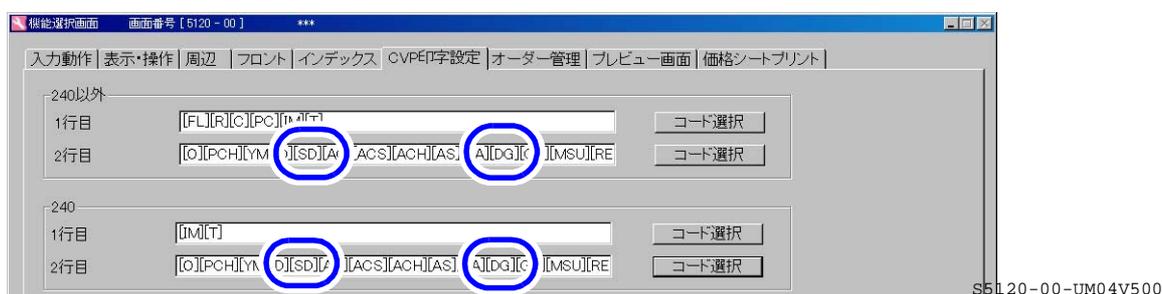
- プリントの種類が「パッケージ」と「アルバム」のプリントチャンネルを使用したオーダーの場合
- 両面プリントのオーダーの場合

操作方法については、[4.1.2 プリンターを複数台接続している場合、オーダーを登録後にも出力するプリンターを変更できるようになりました。](#)をご覧ください。

### 3.1.20 あらかじめ登録されているプリント裏印字の印字コードに「デジタルカメラの自動補正のON/OFF、スキャナー濃度補正」を示すコード「SD」と、「オートコントラスト2」を示すコード「DG」が追加になりました。

画面の表示方法

「コントローラメイン画面」で「F」ボタンをクリック → 「管理ツール」 → 「機能選択」 → 「機能選択」画面で「CVP印字設定」タブをクリック



重要

- EZ Controllerをバージョンアップするときは、すでに現在登録されている印字コードを保持するため、更新されません。



2. プロファイルデータを元に戻します。

(1) 今のプロファイルデータをアンインストールします。



**重要**

- 必ず、今のプロファイルデータをアンインストールしてください。

(2) 元のプロファイルデータをインストールします。

3. プリンターの「セットアップタイプ」を変更した場合は、元に戻します。

- 「セットアップタイプ」の変更方法については、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

4. 「マスター DSA」やプリントチャンネルでの DSA の補正値を設定している場合は、一度初期値に戻し、必要に応じ、設定し直します。

- 詳細については、取扱説明書「5.5 画像の明暗の差、輪郭のメリハリ、色彩の補正[DSA]」参照  
以上で、元の画質に戻す作業は終わりです。